

経営課題5

健康で安心して暮らせるまちづくり



5-1 住み慣れた地域で安心して暮らせる地域福祉の推進

地域福祉力の向上

計画

- 住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業の推進。
- 要援護者見守りネットワーク強化事業との協働 要援護者名簿を活用し、要援護者の把握や見守り活動の強化を図る

目標

- ・地域のつなげ隊を知っていると答えた区民の割合50%以上 ⇒ 31.2%
- ・有償ボランティア制度(あいまち)を知っていると答えた区民の割合50%以上 ⇒ 34.1%

実績・評価

● 住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業の推進

・コミュニティソーシャルワーカー3名配置

→ 各地域の会議や事業に参加するなど、少しずつ区民の方との面識ができてきており、地域福祉の活動支援や迅速な相談対応につながるよう、より一層の交流を図っていく。

・地域福祉コーディネーター(つなげ隊)を各地域1名、計12名配置

→ 地域の身近な相談窓口として、地域の方の困りごとの解決や、不安の解消役など活躍してもらっており、地域福祉の活動推進の大きな力となっている。

・各地域の福祉活動に対する助成

→ 地域の住民同士のつながりの場の確保ができ、特に、地域の福祉課題の解決に向けたネットワーク委員会活動を定期的に行うことで、地域住民の共通の課題認識の場となっていることは大変貴重であり、今後も引き続き開催していく。

・SNSでの地域福祉活動の紹介 1回

CSWやつなげ隊の活動紹介の広報 2回

有償ボランティア制度の定着

広報紙での事業周知 3回

SNSでの情報発信 3回

講演会 1回

「あいまち」講座 3回連続講座

→ まだまだ「あいまち」や「つなげ隊」の認知度が低い。今までの周知に加え、地域住民の目を引くよう、チラシのデザインの工夫や配架場所の拡大を行う。

実績・評価

● 要援護者見守りネットワーク強化事業との協働

・要援護者名簿の同意確認及び整備

→ 新たに身体障がい者を名簿に含めて同意確認してきており、引き続き未回答者の解消を図るため、取組んでいく。

・各地活協及び民生委員への要援護者名簿の情報提供及び見守り

→ 見守り活動を通してお互い見守り支え合う意識が高まっており、気づきがあれば地域から見守り相談室に連絡が入る体制が進んでおり、今後も見守り体制の強化に向け取組んでいく。

・認知症高齢者等徘徊時メール配信

→ 区独自の説明ちらしを作成し、関係機関に広く周知説明を行ったことで事前登録者の増加につながったため、引き続き周知活動を進める。

地域有償ボランティア派遣制度
福祉に力を入れています

まちの 支えあい活動 「あいまち」

おなじみの「あいまち」
活動の紹介と申し込み

活動
まちの支えあい活動
講師「あいまち」とは…?

「ちょっと違ったな、聞いてほしいな」の声を地域住民同士が気軽に伝えあえる相互援助活動です。有償の活動ですが、採利を目的とせず、利用者の気持ちの負担軽減や健康意識の向上や地域交流の促進に努めています。会員登録をすることで、助けあい活動をすることも、利用体験をして支援を受けることもできます。一方的に「助けてあげる、助けてもらう」のではなく、10分程度で済むことで相互に支えあうしくまです。

活動したい方大募集!!

できること、得意なことを活かしてできる範囲で活動してみませんか?

- 利用できる方
 - 活動したい方
 - 活動したい方
 - 活動したい方

まちの支えあい活動「あいまち」事務局 (運営: 社会福祉法人 大野市聴覚障害者福祉協議会)
【電話番号】 06-6913-7066 (受付時間 午前9時~午後5時30分 ※日・祝休み)
【住所】 〒538-0061 鶴見区鶴見5丁目16-12 鶴見区在宅サービスセンター内
【ホームページ】 <http://www.tsurumi-kushakeyo.or.jp/>

住民主体の地域福祉ネットワーク活動性推進事業
鶴見区より委託を受けています

「つなげ隊」にご相談を!

地域にお住まいの方を対象に見守り活動を行い、地域とのつながりづくりのお手伝いをしています。また、支援を必要とされている方の助かりごとなどの相談を受け、地域のネットワーク委員会の各種団体・専門機関との連携・つなぎ役を行います。

たとえば…

- 暮いずを借りたいけど、どこに相談したらよいかわからない
- 子育てに不安がある
- ボランティア活動がしたい!

こんなときは「つなげ隊」までお気軽にご相談ください!
鶴見区の各地域の福祉会館・公民館が事務所となっています。

区役所	鶴見3-3-3	鶴見北公民館	06-6915-6333
区役所	鶴見3-6-37	鶴見北公民館	06-6915-1151
区役所	鶴見3-5-41	鶴見北公民館	06-6912-5000
区役所	牛久保5-9-32	牛久保福祉会館	06-6965-3132
区役所	牛久保5-5-32	牛久保福祉会館	06-6962-7273
区役所	鶴見2-4-36	東田原福祉会館	06-6913-7200
区役所	牛久保5-4-41	東田原福祉会館	06-6913-7000
区役所	鶴見3-5-32	東田原福祉会館	06-6912-8633
区役所	鶴見4-2-12	東田原福祉会館	06-6913-4119
区役所	鶴見1-8-104	東田原福祉会館	06-6913-9191
区役所	鶴見5-5-32	東田原福祉会館	06-6913-3920
区役所	鶴見3-10-11	鶴見福祉会館	06-7860-3441

**あなたのお困りごと、気になること
お気軽にご相談ください。**

鶴見区社会福祉協議会には3人のコミュニティソーシャルワーカーがいます。「物でもお借りする家がある」「ご近所さんが最近お顔を見合っていない」「物で汚れた服も着ていない」「よくわからない相談ごとや聞いてほしいかわからない困りごとなど、お気軽にご相談ください。つながり隊や関係機関と連携を取りながら、生活全体の相談に当たります。

鶴見区社会福祉協議会
【電話番号】 06-6913-7070 (代電)
06-6913-7066 (コミュニティソーシャルワーカー)
【住所】 〒538-0061 鶴見区鶴見5丁目16-12 鶴見区在宅サービスセンター内



「あいまち」と「つなげ隊」
周知チラシの配布

「あいまち」会員による
活動風景



「つなげ隊」による
見守り活動

地域の身近な相談窓口となる
各地域の「つなげ隊」の皆さん

30年度の 取組み

・【継続】住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業の推進

コミュニティソーシャルワーカー配置、地域福祉コーディネーター(つなげ隊)を各地域配置、各地域の福祉活動に対する助成、SNSでの地域福祉活動の紹介、CSWやつなげ隊の活動紹介の広報、有償ボランティア制度の定着、広報紙での事業周知、SNSでの情報発信、講演会、「あいまち」講座

・【継続】要援護者見守りネットワーク強化事業との協働

要援護者名簿の同意確認及び整備、各地活協及び民生委員協議会への要援護者名簿の情報提供、要援護者の見守り、認知症高齢者等徘徊時メール配信、広報紙やHPを活用した事業周知

31年度の 方向性

高齢者・障がい者への理解の啓発等

計画

- 高齢者への理解を深めるための講演会等の開催
- 障がい者支援関連の研修会・講演会等の開催
- 高齢者福祉に関して、地域包括支援センター職員や福祉専門職員のスキルアップを図るための勉強会・事例検討会
- 福祉資源マップの作成・配付

目標

高齢者や障がい者に対する理解を深めたと回答した講演会等参加者の割合70%以上
⇒ 93.0%

実績・評価

・高齢者への理解を深めるための講演会等の開催

「区民で支えよう認知症」

→ 認知症における医療方面の専門家を講師として招き、より実践的な知識や心構えを参加した区民に伝えることができた。また、実際の声掛け事例を舞台上の寸劇を通じて紹介し、見た目からもわかりやすい知識習得の場となった。

「愛だけでは介護できない」

→ 実際の介護に携わった著名人(遥洋子氏)からの体験談や介護に対する想いを聞く機会を作ることができた。

・福祉資源マップ作成

→ 高齢福祉・障がい福祉の関係者からなる検討チームを結成し、マップづくりの方向性や掲載する情報を検討。

実際に手に取って使ってもらえるような書き込み式マップを完成させた。



地域福祉マップ作成
3000部



認知症講演会

10月14日開催
参加者200人



鶴見区社会福祉講演会

1月31日開催
参加者700人

鶴見区障がい者相談支援センター主催研修会

実践事例から学ぶネットワークの力

わたしたち対人援助職が会う人たちは、さまざまな生活にくきが形成しています。支援者は、複雑な課題を前に、戸惑ったり、1人で答え探しだりしていませんか。相談援助の醍醐味は、「つなぐこと」にあります。本人のまわりにも、そしてわたしたち支援者のまわりにも、支えあえる人たちがいるはずですが、でも……

参加費 無料

「どこ」と「どのように」「つなぐ」は、何の？」

1つのネットワークとして、「チームで変える」ことには、どんな強みがあるのでしょうか。みなさんと事例を共有し、ネットワークの意義とその力を学びませんか。これからの支援のヒントをもとに感じ取りましょう。

ファシリテーター 山田 容 氏
(龍谷大学 社会学部現代福祉学科 准教授)

事例提供者 児玉祐子 氏 基幹相談支援センター(東大和市)「社会福祉士「高井学校へ」学校をとりまく地域資源の輪へ」
岡本育美 氏 鶴見区西部地域包括支援センター「社会福祉士「虐待、悪質一親子を支えた支援のバトン」

対象者 福祉従事者
ご興味のある方

日 時 平成29年10月21日(土)
13時30分~16時30分

場 所 大塚町社会福祉会館3階301(東区)

内 容 ネットワークをテーマとした実践事例の発表とグループ討論

申込方法 FAXまたはお電話下さい

☆懇親会について
終了後、会場周辺にて開催予定です。お申し込みの際に、参加/不参加をお知らせください。お食費:4000円(予定)

主催 鶴見区障がい者相談支援センター
(大阪市委託事業 社会福祉法人日本ライオン会受託)
所在地: 大阪市鶴見区今津中2-4-37
連絡先: 06-6961-4631(直通) / 06-6961-5525 (FAX)
共催: 鶴見区地域自立支援協議会

障がい者支援に関する研修会

10月21日開催
参加者70人

30年度の 取組み

- ・【継続】鶴見区医師会主催の講演会への共催
- ・【継続】認知症に関する多職種協働グループワーク開催
- ・【継続】障がい者支援に関する研修会などの開催
- ・【継続】要援護支援の事例検討会と地域ケア会議などで見えてきた課題の共有

31年度の 方向性

経営課題5

健康で安心して暮らせるまちづくり



5-2 健康づくりへの支援

健康増進意識の向上

計画

- 地域のさまざまな取組みと連携し、区民の健康保持・増進を促すとともに、関係団体と協働し、運動習慣づくりや食生活の改善など、区民の自主的な健康づくりを進めるため、幅広い年齢層が参加できるイベントを開催する。
- 健康づくりに役立つ情報発信に取り組む。

目標

健康づくり事業に対する参加者の満足度80%以上 ⇒88.2%

実績・評価

・食育フェスタ&健康展の同時開催

→悪天にも関わらず、当初予定していた以上に幅広い年代の方の参加者や初めての参加者も多く、イベントとしての満足度(88.2%)も高かった。
引き続き、団体・企業と協働し、体験型啓発や啓発物品提供を充実させ集客に努めていく。

・ウォーキング教室

→講演と実践の2日コースにより、ウォーキングを効果的に実践できた。

・健康に関する講演会「睡眠と健康」

→公益社団法人との共催により実施。睡眠についての基礎的な知識や良質な睡眠のしくみなどの内容で参加者も多く、満足度(97%)も高かった。今後は、講演の中に良質な睡眠をとるための生活習慣の工夫についても取り入れた内容にしていきたい。

・健康づくりに役立つ情報発信

→「栄養・食生活」「運動」に関する知識や情報について、広報紙、HP、フェイスブック、啓発チラシ配付にて広く情報を発信した。
また、保健事業であるがん検診や乳幼児健診にて啓発を実施し、骨量検査受診率増に繋げた。



第10回食育フェスタ
& 健康展
10月28日(土)開催
参加者650人



健康に関する講演会
12月7日(木)開催
参加者123人



ウォーキング教室
10月5日(木)
10月11日(水)開催
参加者のべ96人

鶴見区役所からのお知らせ
広報 つるみ
編集・発行 鶴見区役所総務課(区政企画) 〒538-8510 大阪市鶴見区鶴見5-4-10 番

鶴見区役所からのお知らせ
広報 つるみ 6 No.254 月号
編集・発行 鶴見区役所総務課(区政企画) 〒538-8510 大阪市鶴見区鶴見5-4-10 番 (06)6915-9683 番(06)6913-6235

年に1度の健康チェック!!

健康な生活はバランスのとれた食事が大切です!

情報発信
広報紙・ホームページ・フェイスブック

6月は食育月間です!

今月のトピックス
収集日変更

- 鶴見区のごみ収集について……………④
- 平成30年度 検診等のお知らせ……………⑤
- 総合区・特別区ってなんだろう?……………⑥

30年度の 取組み

- ・【継続】食育フェスタの開催 1回
- ・【継続】健康まつり・健康に関する講演会の開催 1回
- ・【継続】ウォーキング教室の開催 1回
- ・【継続】ウォーキングカレンダーの発行
- ・【継続】がん検診受診率向上に向けた取り組み
- ・【継続】「栄養・食生活」「運動」「喫煙」など、健康づくりに役立つ情報の発信

31年度の 方向性

【経営課題全体としての評価総括(自己評価)】

- 地域福祉ネットワークづくりや相談支援体制の強化に向けて、コミュニティソーシャルワーカーや地域福祉コーディネーターをお送りいたします。配置しているが、さらに言えば認知度を上げるための活動紹介や広報活動を進めていく。
- 関係機関と連携し高齢者や障がい者への正しい理解を深める研修会、講演会等を開催したが、引き続き関係機関との連携を強化し地域包括ケアの取り組みを進めていく。
- 鶴見区の特定健診や各種がん検診の受診率は大阪市トップクラスを維持しており健康への意識は高いものと考えられるが、生活習慣病の要因となる肥満者やメタボ該当者の割合が大阪市平均を上回っているため、あらゆる広報媒体を活用し、手軽に取り組めるウォーキング教室の案内を強化するとともに、引き続き区民自ら健康増進を習慣づけて取り組めるような啓発や事業に取り組んでいく。